

## 研究タイトル: Communicative Language Teaching を用いた言語活動の開発



氏名:	青砥 正彦 / AOTO Masahiko	E-mail:	aoto@yonago-k.ac.jp
職名:	教授	学位:	修士(学術)
所属学会・協会:	全国高等専門学校英語教育学会, 英語授業研究学会		
キーワード:	英語教育学		

技術相談  
提供可能技術: TOEIC、語彙指導

### 研究内容: Communicative Language Teaching を用いた語彙指導活動の開発

学習指導要領では中学で1200語、高校でさらに1800語程度の語を学ぶことになっています。実際には、TOEIC等へ対応するには、これだけでは十分であるとは言えません。さらなる語彙を習得するため、学生が自ら語彙学習に取り組む必要があります。

語彙には受容語彙と発表語彙があり、それぞれの語彙の選定と導入の方法について留意しなければいけません。また、語彙の知識を4技能の能力に役立てるために、語彙の定着を促す指導として、意識的に語彙を記憶させる指導、言語活動を通して語彙を定着させる指導があります。単語の暗記を苦手とする学生を支援するためにも、様々な工夫をしながら教材を開発しています。

担当科目	英語総合, 基礎英語演習, 多読多聴英語, 英語演習
過去の実績	Masahiko Aoto, Activities for Introducing and Reinforcing Vocabulary(2007) Mext Six-Month Overseas Study Program Professional Development Dossier, uOttawa
近年の業績 (研究・教育論文、特許含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方法・教材資料集(2011), 新時代を拓く学びの創造プロジェクト 高校生学力向上部会(英語) 鳥取県教育委員会(共著)</li> <li>・授業実践へ向けて(2013), 新時代を拓く学びの創造プロジェクト 高校生学力向上部会 鳥取県教育委員会(共著)</li> <li>・Masahiko Aoto, Development of a “Can Do List” based on the “Model Core Curriculum”(2015)</li> <li>・A Survey on the Foreign Languages Curriculums of KOSENs in Chugoku and Shikoku.(2016)</li> <li>・高等専門学校における外部試験を取り入れた英語教育の実践研究～米子工業高等専門学校における TOEIC の事例を中心に～(2018)</li> </ul>